

OUR STRATEGY

EVグループ

※EVグループの業績数値は産業電子モビリティグループに含まれます。



“ 変化の激しい市場環境を見極めながら、製品競争力の強化を通じた事業の発展に努めます ”

専務執行役員
EVグループ長 新倉 耕治

事業環境

機会

- 環境機運の高まりと各国の規制
- 電動化を強く意識した自動車メーカーの戦略変化
- 新興国等を含めた電動車ニーズの拡がり
- 充電インフラへの投資等、普及加速に向けた取り組みの進展

リスク

- 電動パワートレイン分野におけるコモディティ化の進展
- 市場プレイヤーの増加に伴う競争環境の激化
- 自動車産業のグローバル競争におけるパワーバランスの変化

強み

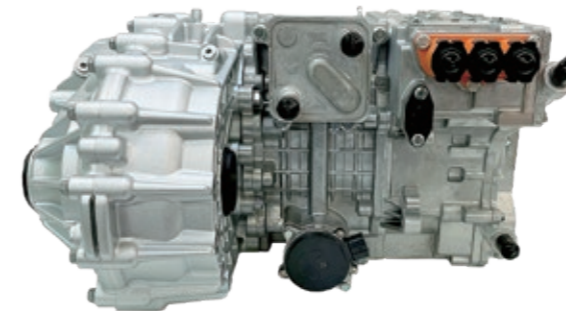
- 量産用EV駆動ユニットのバイオニアとしての実績とQ(品質)C(コスト)D(供給)に差をつける混流生産
- モーター及びインバーターのソフトを含めた制御技術と設計開発力
- 顧客仕様に対応するカスタマイズ開発と量産効果の追求の両立

2023年度の振り返り

- ▶ 国内におけるモーター・インバーター一体機の堅調な需要などを背景に増収を果たし、事業損益は営業黒字に復帰
- ▶ 中国の生産拠点は、第1ラインの需要が従前の計画を下回る状況が年間を通じて継続
- ▶ 一体機を手掛ける第2ラインが下期より稼働開始
- ▶ 150kW e-Axleの市場投入と800V高出力e-Axleの開発

2024年度以降の展開

生産効率を上げながら、製品競争力の強化と新規案件獲得に注力



800V対応 高出力EV駆動ユニット
(MEIDEN e-Axle)

- ▶ 事業全体では、新規車種への納入や中国第2ラインの通年寄与を含め、2023年度と同等水準の売上を計画
- ▶ 国内及び中国で最適な生産体制を構築し、生産負荷を最適化する取組みを推進
- ▶ 日系自動車メーカーを主要ターゲットに、将来案件の受注に向けた提案活動を強化
- ▶ 800V対応やSiC(シリコンカーバイド)適用に向けた開発を通じた、小型、高効率、低コストによる製品競争力強化

TOPICS

明電舎(杭州)駆動技術有限公司の第2ラインの本格稼働
モーター・インバーター一体機の量産及び納入を開始

IMPACT 定量的な社会インパクト

当社EV事業を通じた2023年度GHG削減貢献量

141万t-CO₂

(GHG削減貢献量算定の考え方:同等グレードのガソリン車を代替した場合の排出抑制)



2023年10月より、明電舎(杭州)駆動技術有限公司の第2ラインが本格稼働を開始し、モーター・インバーター一体機の生産・納入を開始しました。

このラインでは、同じ製品を製造する名古屋の生産ラインと同様、1つのラインで仕様が異なる複数車種向けを生産する混流生産を行っています。この生産方式の強みを最大限に活かすため、お客様との仕様決め段階から可能な範囲で部品共通化を図り、設備の高い稼働率を実現している一方で、最新のトレーサビリティを備えた設備を導入することにより、混流生産を可能にしています。

当ラインで生産される製品は、現地のお客様へ納入されるだけでなく、高い操業度が続く名古屋工場の生産能力を一部補完する形で、日本への輸出も行われます。

量産車種への初納入を果たした2009年以降、積み

重ねてきた生産技術やライン運用のノウハウも活かし、更に効率的なものづくりを追求するとともに、質の高い製品の供給を通じてクルマの電動化を支えることで、住みよい環境を次世代に残していくことにも貢献していきます。



明電舎(杭州)駆動技術
有限公司
神谷 勇輝

EV駆動ユニットの売上台数推移

※数値は、自動車の台数ベースで算出しています。

